No.　　おもて

　五月十二日は、自分にとって特別な時間てなった。ぼくは、たまに読んでいる新聞がこんなにも大事なことだったとは、最初は思いもしませんでした。

　ぼくにとって新聞は、毎日ニュースの記事がかかれているだけだと思いました。けど話を聞いてからは、大事なことだと知りました。

　はじめに話していたのは、今、世界中で話題となっている　ロシアとウクライナの問題です。テレビを見ていてもニュースになるほど大きな問題となっている戦争は、新聞では、テレビ以上にとても細かく文章がかかれていました。テレビでは放送されていないことも新聞では予想をはるかに起える文章の多さにおどろきました。でもその文章からは、みんなに多くのことを知ってほしいと感じられました。また、新聞には、テマなどのうその情報ではなく、本当でわかりやすいようにかかれていました。

　ぼくが見つけた工夫では、見出しを大きく

うら

して　ぱって見ただけで情報が伝おるてころ
です。すごくわかりやすくした工夫て思いま
した。
新聞の見方、工夫、努力などを色々知れた
一時間になりました。

　ぼくは、新聞記者の話を聞いて、ロシアとウクライナの戦争についてあらためて考えました。そこでぼくが思ったことは二つあります。
　一つ目は、ロシアのけいざい的せいさいとはどのようなことだろうと思いました。新聞記者の人は、
「ロシアに輸入したり輸出したりをできなくしたり、銀行での取り引きをできなくしたりなどがあります。」
と言っていました。そしてぼくは、他国もロシアとウクライナの戦争が早く終わってほしいのだなと思いました。
　二つ目は、ウクライナ人の命がなくなることが悲しいなと思いました。ぼくは、自分たちができるウクライナ人のしえんをし、この戦争を早く終わらしたいと思いました。
　ぼくは、新聞記者の話を聞いて、戦争は悲しみしか生まないから早くなくなってほしいと思いました。そして世界が平和になれば

うら

良いなと思いました。

私は、五月十一日の六時間目に新聞学習をしました。そこでは、ロシアとウクライナの戦争の事がのっている新聞を見ながら学習しました。

新聞記者の人がパワーポイントで分かりやすくおしえてくれました。

私も、ニュースを見ているのでなんとなくはわかっていたけど新聞記者の人がよりわかりやすくくわしくおしえてくれたのでとてもまではいかないけど最初よりくわしくなれたと思います。

今も、プーチン大統領がウクライナをせめつづけていてロシアもウクライナも死者が多くでています。ウクライナのキエフの映像をよくみるのですが建物がくずれおちたり妊婦さんが運んでいくのをよくみますがもし、妊婦さんが亡くなってしまったら一人ではなくて二人の人命が亡くなることがどれだけかなしくてどれだけの人命が亡くなるかがとてもよく分かりました。

うら

私は、ロシアとウクライナの戦争が早くおさまって早く平和になってこれ以上死者がでないようにしてほしいです。

「人の命をむだにする」それが、私が戦争に思うことです。そもそも、どうして戦争がおきるのでしょうか。

私が考えた理由は二つあります。まず一つ目は、原爆などのかく兵器を作ってしまったからだと思います。さらにそのかく兵器を実際に使ってしまいました。二つ目は一人ひとりの考えが違うからです。

原爆を使うということはあってはならないことだと思います。なぜなら、戦争をしたくない人だってたくさんいるのに、その大切な人たちの命を無くならせたからです。でも、この世界には色々な人がいます。なので、もちろん全員の意見が合うはずがありません。だから、戦争をするといった人は、その人なりの理由があるかもしれません。それが戦争の、難かしい所なのです。

そして、今でも戦争をしている国はあります。その戦争をやめさせる。又は、戦争をしないようにするため、今の私たちにできるこ

とはなんでしょうか。私は、全世界の人が理解できるように、戦争の時の写真をネットに上げて、できるだけ多くの人に知ってもらいたいです。さらに、世界でただ一つの被爆国として、原爆ドームのように、戦争時のものを残したり、曲にして伝えるということもできます。

一人ひとりが自覚と責任を持つことが大切だと思います。自分の行動が正しいのか、しっかり確かめることが、重要だと思いました。

No.　おもて

自分は、新聞のウクライナ、ロシア戦争の授業を受けて、どうやったら戦争が終わるのか、と授業を受け今後どうやって新聞を書こうと思ったのか、を書こうと思います。

初めに、今とても話題になっているロシア軍がウクライナに攻めウクライナ人の死者が三万人を起えるという、何とも言えないつらいニュースを見ていたので、戦争が他国で起こっているのは、知っていました。

次に、どうやったら戦争を終わらせられる事ができるのか。自分は、プーチン大統領を殺せばいいと思います。物騒だと思いますが自分はそうしないと、だれも止められないと思っています。なので自分は、プーチン大統領を殺せばいいと思いました。

次に、どうやったら新聞を書くのか、何ですけど、自分は、見出しを大きく、少ない文で何をいいたいのか、を考えて新聞をかきたい、です。

最後に、ロシア、ウクライナ戦争の終わり

うら

が見えいですけど今後どうしたら、この戦争が終わるのか考えていきたいです。

No.　おもて

最近ニュース番組をつけるとロシアとウクライナの戦争の話ばかりしています。私は今まで
「戦争なんてもう起きないだろう。」
と思っていました。しかしロシアが起こした戦争が始まりました。
私は正直なところ、戦争なんて必要ないと思います。ただロシアのプーチン大統領が言っていた
「ロシア、そして国民を守るにはほかに方法がなかった。」
という言葉を聞いて、ロシアが戦争する気持ちも分かります。しかし、みんな平和に仲良く協力すればこんな戦争をするはめにはならなかったと思います。
戦争は、いろんな人が亡くなって、いろんな人が悲しんでしまう、とてもおそろしいものです。戦争を終わらせるには、国民の一人一人が、
「仲良く、平和に」

うら

ということを心がけて生活することが大切だと思いました。

少しでも早くウクライナとロシアの戦争が終わってほしいです。

No.　　おもて

私は、今回の授業でウクライナ侵攻についてたくさんのことを知り、この戦争を止めるためにはどうすればよいのか考えました。

まず、戦争が起きた理由について簡単に知っておく必要があります。この戦争が起こってしまった大きな理由は、NATOへの加盟です。アメリカ合衆国を中心とする、「集団防衛」、「危機管理」などを任務としている機関です。ロシアは、長い間兄弟国であったウクライナがアメリカ合衆国などが加盟しているNATOに加盟することに反発したため今回の戦争が起こったのです。

このような戦争が起こった理由をふまえて私はこの戦争を止めるための方法は無いと考えました。ですが、またこのような状きょうになった場合であれば対処できると思いました。それは、早めに仲裁者が現れるということです。そうすれば、戦争はどの大きな事にはならないと考えました。

ですが、これからは今起こっている戦争を

うら

止める方法も、じっくり考えていかなければいけません。

No.　おもて

私は、新聞記者の方の話を聞いて今の状況で自分にできることはないか考えてみました。
今、ロシアとウクライナの戦争が問題になっているからあと少しで日本にも来るかもしれないから、私は毎日不安で暮しています。小さい時から戦争、火事、津波、地震などがトラウマでした。なので、「なんで起こるんだろう。起こらなかったら幸せなのに。」ってずっと思っていました。けど、今戦争が起きているので早くおさまってほしいと思います。なので、自分達には少しのことしか出来ないけれど少しでも平和になるように、呼びかけたりポスターなどをはったりすると少してもおさまってくれるといいなと思います。
私は、もうこれからは戦争のない平和なせ界にもどってほしいです。私は人の大事な命をうばう戦いなんてしても楽しくないのでポスターをはったり呼びかけるだけで少しでも人の幸せが増えることをとても願っていま

うら

す。

No.　おもて

　ぼくは、戦争の大変さをこの学習で知りました。今、戦争が行われている場所はウクライナとロシアです。
今、ロシアがウクライナに一方的に攻げきをしています。今、新聞やニュースでも流れていることもあります。新聞記者の人が言っていたことで、今、戦争が起きているから、自分たちに何が出来るかを考えるということがありました。ぼくが考えたことは、ウクライナの大とう領とゼレンスキー大とう領とロシアの大とう領、プーチン大とう領としっかりと話し合うことを他の国等の大とう領が呼びかけたり、一ぱん人が呼びかけたりしたらいいと思いました。
メディアリテラシーの学習で神戸新聞記者が梅香中学校に来ました。その学習でたくさんの事を学ぶ事が出来ました。例えば、ウクライナとロシアの戦争の大変さや、今まで起こった戦争のこと等、たくさん学べました。他の国では戦争が起きているので日本でもい

うら

つぎきるか分からないので常に大変さを頭に
入れておこうと思いました。

No.　おもて

私が今日のメディアリテラシーで感じたことは、人の命は大切にしようということです。戦争でたくさんの人の命がなくなり、戦争はまだしていると聞くと、胸が痛みました。まだ、新しい命があるというのに、なぜこんなに戦争をし、人々を苦しめるのだろうか、そう思います。戦争はやめてほしい、平和な世界になってほしい、もう人々を苦しめないでほしい。そんな声がいっぱいあると思います。そのためにはどうしたらよいか、という質問をされ、みんなで考えることになりました。

　私は、どうしたらよいか考えました。考えた結果、テレビで、戦争はやめよう、て主張したらいいんじゃないか、て結果がでました。他の人の意見は、私と同じ人も居ました。その後は、いろいろな意見がでて、その後は戦争の話をたくさんされました。戦争、て人の命をけずっていくんだな、人の命って何だろうと思いました。

　これからは、たくさんなくなった命の分ま

うら

で生きたいと思います。

人の命とは何なのか。きっとそれは、国や一部の大人の勝手な都合で、決しておわらせてはいけないものです。かけがえのない、代わりのしなく大切なもの。そのことをわすれず、私たちに何ができるか、一緒に考えていきましょうね。

No. おもて

ぼくは五月十一日金曜日に新聞記者の人から、色々な事を学びました。
まずは今も起っている、ロシア対ウクライナ問題です。ぼくはよくニュースを見るので、この戦争に関することは知っています。ニュースを見ていると、もういやと言うほど流れてきます。ですが、ニュースでうつっていることだけがすべてではありません。もっとひどいことだって起こっています。ニュースには今ガイドラインがきびしくなっているのであまり過激なことは写せません。そこで役立つのが新聞です。新聞ではニュースだとひっかかるような内容や写真ものせてくれます。
ですが、ニュースで見た、新聞で見たなど他人事ですませていると見てる意味がありません。日本だからと言って安全ではありません。ロシアとウクライナだけじゃなく、どこかで戦争が起っていれば平和ではありません。その事を知らせてくれるための新聞。新聞は人権を守るためのものとな

うら

ういました。とてもいい勉強になりました。
他の国で起きている戦争だから、日本は安全だから…と他人事に考えるのではなく、得た情報から、私たちがどう考え、行動するかが大切ですね。

No.　おもて

自分は、ウクライナとロシアの戦争についての事を、特活のメディアリテラシーの時間で、再度、しっかりと考えないと、と思いました。

まず始めに、今起こっている、ロシアとウクライナの戦争では、亡くなった人がとても多く、ロシアのおそろしさが良くわかります。ロシアには今すぐにでも一般人のぎゃくさつをやめてほしいと思うばかりです。

次に、ウクライナとロシアの戦争での、食材の高騰が続いています。これは日本にもえいきょうがあり、いろんな食材の価格が上がっており、これにより、パンやおかしなどの他のものも値上がりをしており、ロシアとウクライナが戦争してしまう事により、日本や、外国にさえもえいきょうが及ぶ事が良く分かります。

最後に、ロシアとウクライナの戦争始まりで、第三次世界大戦がはじまるかもしれないということがあり、この時代にいろんな事が起

こる事は決っしてありえないので、それだけはさけたいと願うばかりです。
「他の国々の戦争だからと他人事として考えるのではなく、どれだけ影響があるのか、また日本で本当に戦争は起こらないのか、自分事として考えていきましょう。

No.　おもて

　ぼくは戦争を終わらすにはそれぞれの国の政権をにぎっている立場、つまり大統領同士の話し合いが必要だと思います。今のロシアとウクライナはもっと立場の高い人達が話し合いをするべきだと思います。そのような話し合いでもしおたがいが納得するような条件が出れば、もっと早くこの戦争を終わらせることができるがもしれません。戦争では人の命がうばわれるだけではなく、国の信らいや街などに爆げきの被害が残ったりといろいろと良くないことがあります。ぼくは自分にできることを考えてみました。一つ目は募金です。ただ募金は戦争に募金ではなく、被害を受けている人達への募金です。二つ目はネットやSNSなどで声をあげることです。今の社会などではSNSなどで情報の共有などもできるので多くの人たちで声をあげ少しでも良くようにすれば、もしかしたら変わるかもしれません。
　ぼくは、かっての戦争が今こうしてロシア

などの国ぐにでおきてるのがとてもこわくて、一日でも早く戦争が終わってほしいと願っています。

その通りですね。私たちにできることを、考えることが、とても大切だと思います。そして、一人ひとりが小さなことでも実行していくと、世界は変わるかもしれませんね。